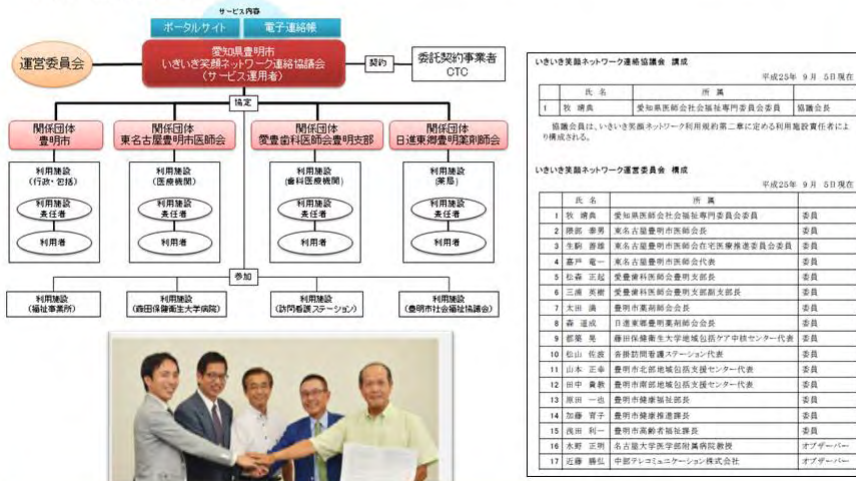


3 率的で質の高い医療提供のための多職種連携②

2 在宅医療・福祉統合ネットワーク「いきいき笑顔ネットワーク」運用体制

○平成25年9月に市・3師会協定を締結し、運用経費を含めネットワークの自立的運用体制が整備された。



3 効率的で質の高い医療提供のための多職種連携②

3 いきいき笑顔ネットワーク普及と活用活性化のための取り組み

- 登録・活用勉強会の開催
 - ・居宅介護支援事業所等（2回）
 - ・薬剤師会（1回）
 - ・その他、要望に応じ実施（随時）



- いきいき笑顔ポータルサイト活用
 - ・新規登録申請
 - ・ネットワークログイン
 - ・在宅医療連携に関する情報発信



- 市広報への在宅医療連携関連記事掲載、ロゴステッカー、チラシ等による啓発



3 効率的で質の高い医療提供のための多職種連携②

【平成25年度 実施まとめ】

- ◆多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業の開催
- ◆ICTネットワーク「いきいき笑顔ネットワーク」の普及と活用

○「顔の見える関係の強化」+「ICTネットワークの普及」により、連携がよりスムーズになっている。

○研修会参加者からは、「交流会の時間をもっと多く持ちたい」「事例検討を多職種で行い、在宅医療連携の自分の役割を知りたい」といった前向きな意見が聞かれている。

○いきいき笑顔ネットワーク登録状況（H26.4現在）

- ・70医療福祉関係機関・120名が登録済み
- ・また、300名の患者がいきいき笑顔ネットワーク上に登録されている

平成26年度取り組みの提言

ニーズに応じた柔軟な多職種人材育成事業の実施と、さらなるICTネットワークの普及により、医療・福祉関係者間の相互の役割理解と連携が進むよう支援する

4 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動

【平成25年度 実施内容】

- ◆豊明市地域包括ケア講演会「在宅医療・福祉のこれから」開催
- ◆市広報誌への特集記事掲載

～地域包括ケア講演会 「在宅医療・福祉のこれから」～

- 日時：平成26年2月8日（土）
- 会場：豊明市文化会館 小ホール
- 参加者：約130名
（市民、医療福祉関係者、行政職員等）

○内容：

（第一部）講演

講師：牧 靖典 先生（いきいき笑顔ネットワーク連絡協議会長）

（第二部）シンポジウム

コーディネーター：水野 正明 先生（名古屋大学医学部附属病院 総長補佐）

パネリスト：石川 英明 市長（豊明市長）

隈部 泰男 先生（東名古屋豊明市医師会長）

松森 正起 先生（愛豊歯科医師会豊明支部長）

森 道成 先生（日進東郷豊明薬剤師会長）



4 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動

【平成25年度 実施まとめ】

- ◆豊明市地域包括ケア講演会「在宅医療・福祉のこれから」開催
- ◆市広報誌への特集記事掲載

○市民にとって在宅生活の継続は望む形ではあるものの、実際に医療や介護が必要となった場合はそれを選択しにくい状況。その原因として、在宅で医療介護サービスを受けながら生活することへの不安(例:緊急時の対応など)がある。

○また、豊明市は市内及び近隣の医療福祉施設が充足した地域であり、市民意識としても「困った時は、病院や施設へ行く」という意識が強い。

平成26年度取り組みの提言

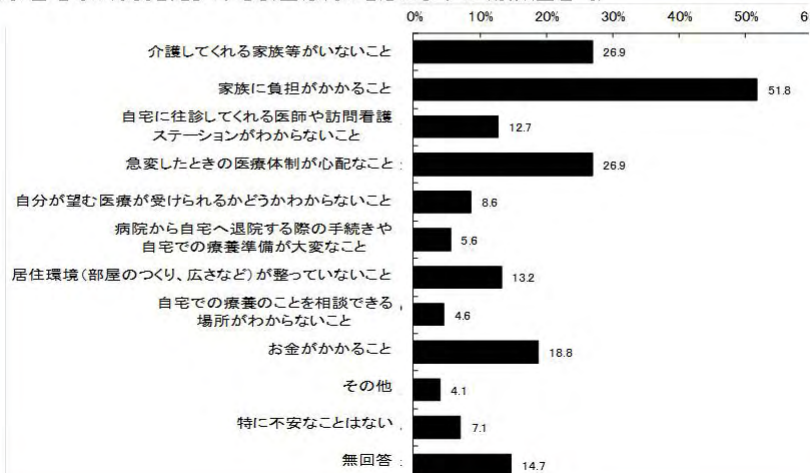
市民が、在宅医療とそれを支える多職種連携体制・ICTネットワークの仕組み等について知り、本人や家族にとってより良い療養の場を安心して選択できるよう普及啓発を行う。

5 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取り組み

※今後の具体的取り組みに向けて、地元病院・医療機関との協議をすすめる予定

■参考:第6期介護保険計画策定に関するニーズ調査より

問:自宅での療養を難しくする要因は何だと思いますか(複数回答可)



ご清聴ありがとうございました

豊明市